施工説明書

INAX

マーベリイナカウンター

スタンダードタイプ

MB-600 S,U,H
MB-500M
MB-450M
MB-350M

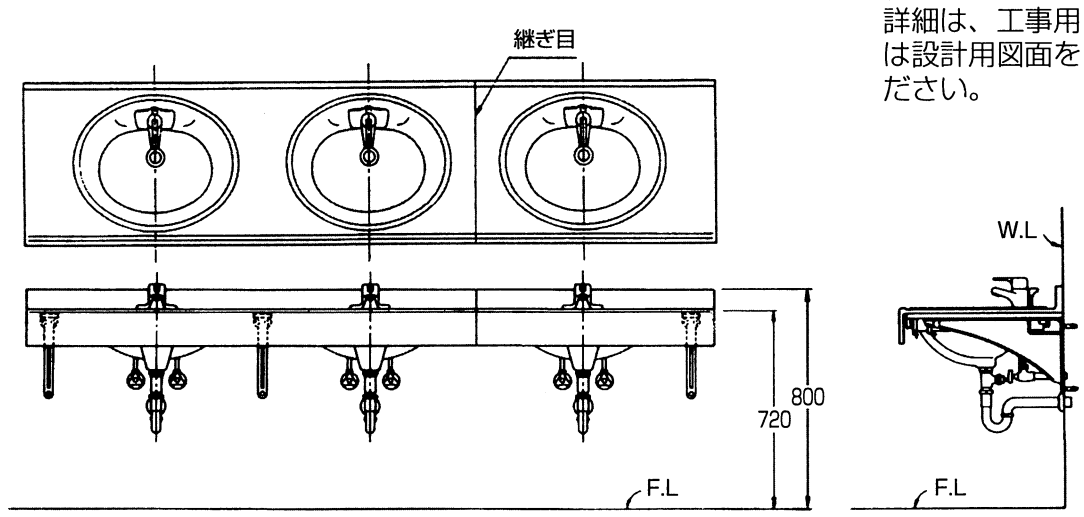
施工される前に

●施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。
※この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。
●「保証書(取扱説明書裏表紙)」は貴店名、取付日を忘れずに記入の上、必ずお客様にお渡しください。
●施工段階での欠陥工事は、施工店様に対して賠償責任が問われる場合がありますことを十分にご認識いただき、お客様が安全で快適にご使用できるようご協力ください。

■寸法図

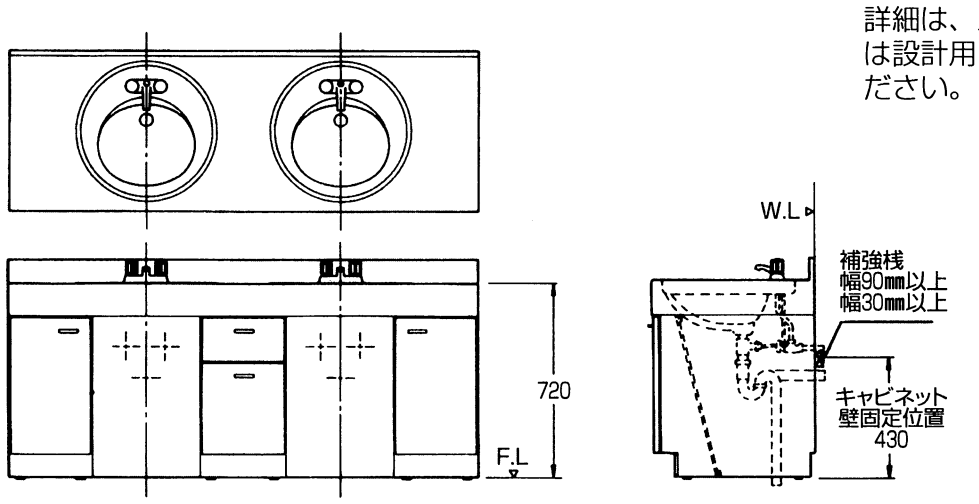
ブラケット式

※給排水金具の取出寸法の詳細は、工事用図面または設計用図面をご参照ください。



キャビネット式

※給排水金具の取出寸法の詳細は、工事用図面または設計用図面をご参照ください。

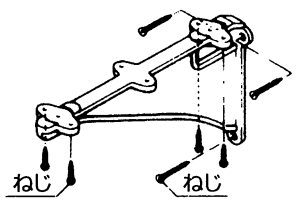


■付属部品明細

ブラケット	壁固定用ねじ またはAYボルト	※1セット（3本）	
	カウンター固定用ねじ	MBF-616C	8本
		MBF-620C	12本
		※MBF-612	3本
		上記以外	4本

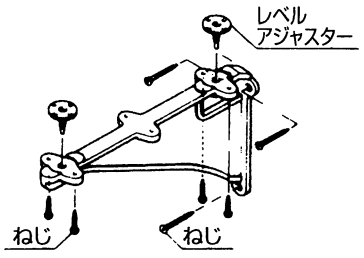
※MBF-612はナイロンワッシャー各6個入り

●固定用ブラケット



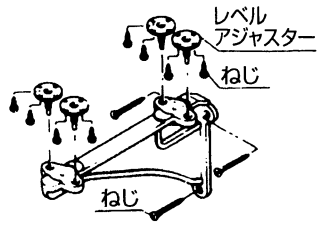
MB-450、500タイプ用
MBF-616A
MB-600タイプ用
MBF-620A

●調節用ブラケット

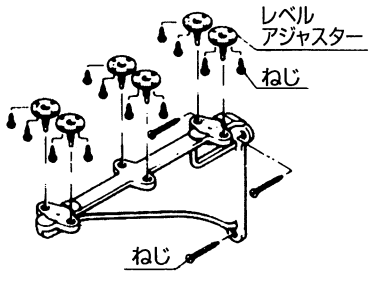


MB-450、500タイプ用
MBF-616B
MB-600タイプ用
MBF-620B

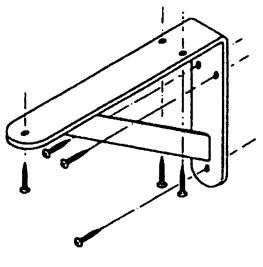
●連結用ブラケット



MB-450、500タイプ用
MBF-616C



MB-600タイプ用
MBF-620C



MB-350M用
MBF-612

安全のために必ずお守りください

●ここでは施工に際して守らないと人身事故や家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

用語および記号の説明

警 告 …「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注 意 …「取扱いを誤った場合に、使用者が重傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ ……「注意しなさい！」（上記の「警告」「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

⃠ ……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

……「分解してはいけません！」

❗ ……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警 告

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※故障したり、思わぬケガをする恐れがあります。
●ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。
※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。

⚠注 意

●この説明書に記載されている以外の壁仕様（ALC壁等）の場合は、キャビネットの取付けをしないでください。
※キャビネットの取付強度が保てず落下する恐れがあります。必ず壁の施工のやり直しを行ってください。
●スライド蝶番（MT－110F）の調節後は必ず、Aねじ、Cねじ、取付ねじが固く締め付けられていることを確認してください。
※締付けが不足しますと蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。
●湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お 願 い

●浴室内などの高温多湿な場所や水が浸る可能性がある床面には設置しないでください。
※木部が水を含んで腐る恐れがあります。
●直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※変色や変形の原因になります。
●不陸が5mm/2mを超える場合は施工しないでください。
※不陸があるまま施工するとキャビネットがひずむ場合があります。
●酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して、キャビネットを拭かないでください。
※変色や変形の恐れがあります。(溶剤がつきますと跡が残ることがあります。)

株式会社INAX

本　　社 ☎0569-35-2700　札幌支社 ☎011-271-1701　東北支社 ☎022-301-1701　東京支社 ☎03-5541-7111　西東京支社 ☎0425-27-3341
横浜支社 ☎045-242-1710　千葉支社 ☎043-227-8171　埼玉支社 ☎048-668-1177　東関東支社 ☎028-637-3379　関越支社 ☎0273-27-1793
甲信支社 ☎0263-36-2166　名古屋支社 ☎052-201-1717　静岡支社 ☎054-251-1710　北陸支社 ☎0762-64-1710　大阪支社 ☎ 06-539-3500
京滋支社 ☎075-222-1794　広島支社 ☎082-223-1710　四国支社 ☎0878-21-1701　福岡支社 ☎092-282-3151　南九州支社 ☎096-322-1794

施 工 前 の 確 認

1.給水、給湯の確認

給水・給湯の条件、水栓金具の設置条件は水栓金具の施工説明書（水栓金具に付属）をご覧ください。

2.配管工事の確認

給水、給湯管および排水管が所定の位置に指定の給排水管仕様で取り出してあることを確認してください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

3.床面の確認

●設置する床は水平で著しい凹凸や不陸がないことを確認してください。

●床面は強固でぐらつき、たわみが生じないことを確認してください。

※キャビネットがぐらついたり、取付精度（納まり）が悪くなる恐れがあります。

お願い

●浴室等の高温多湿な場所や水が浸る可能性がある床面には設置しないでください。
※木部が水を含んで腐る恐れがあります。

4.壁面工事の確認

〔壁材、下地材の確認〕

●キャビネットの取付可能な壁面は右図に示す。
乾式壁３種
湿式壁２種　の以上５種類の壁面のみです。

〔補強木、仕上げ材の厚みの確認〕

●キャビネットの取付けには、乾式壁の場合、壁面に補強木（幅90mm×厚み30mm以上）が指定の位置（寸法図参照）に必ず必要です。あらかじめ建築施工の際に補強木を設けてください。直接、壁の仕上材にキャビネットの取付けはしないでください。

●補強木の柱や、間柱への取付部材（ねじ等）は、キャビネットの固定強度（乾式壁の図を参照）と同等以上になるように種類、数を選定してください。

●乾式壁の場合は、補強木手前の仕上げ材は取付ねじを補強木に届かせるため必ずトータルの厚みで12.5mm以下のものを用いてください。

●湿式壁の場合は、AYボルトをコンクリートに届かせるため、モルタル、タイルの仕上げはトータルの厚みで20mm以下としてください。また、壁本体がコンクリートブロックの場合は、中空部をモルタル詰めにしてください。

〔壁の不陸について〕

●キャビネット取付壁面の不陸は5mm/2m以下であることを確認してください。(キャビネットを壁に当て、壁とのすき間が5mm以下であることを確認してください。)

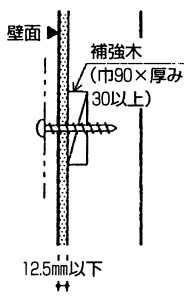
⚠注意

この説明書に記載されている以外の壁仕様（ALC壁等）の場合は、キャビネットの取付けをしないでください。

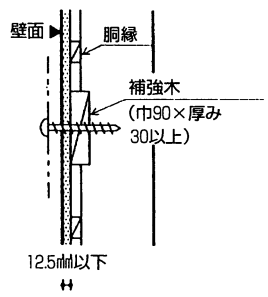
※キャビネットの取付強度が保てず、落下する恐れがあります。必ず壁の施工のやり直しを行ってください。

(1) 乾式壁

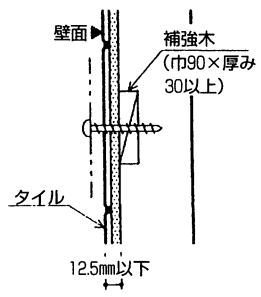
●ボード類直張り



●ボード類胴縁取付け

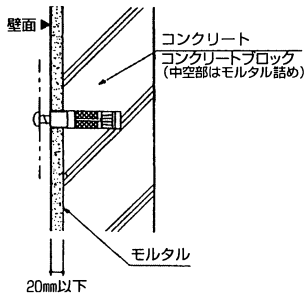


●タイル仕上げ

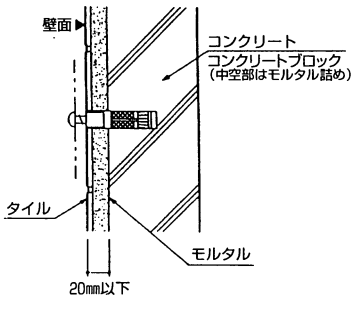


(2) 湿式壁

●モルタル仕上げ



●タイル仕上げ



※壁本体がコンクリートブロックの場合は、中空部はモルタル詰めしてください。

お願い

●キャビネット取付壁面の不陸5mm/2mを超える場合は施工しないでください。
※不陸があるまま施工するとキャビネットがひずむ場合があります。

施 工 方 法

●養生フィルムは建築の内装仕上などすべての工事が完了してから取り除いてください。

水洗金具の取付け

●水栓金具の取付けは水栓に同梱されている施工説明書をご覧ください。水栓金具の取付けはカウンター設置前に行うと便利です。

ブラケット式

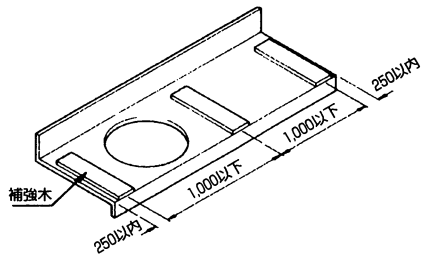
●乾式壁へのブラケット取付けの場合には付属のねじをご使用ください。

●湿式壁へのブラケット取付けにはAYボルト仕様のブラケットと、AYボルトKB-4×60T（AY）を別途手配し、ご使用ください。

1 ブラケットの位置決め

(1) ブラケット取付間隔

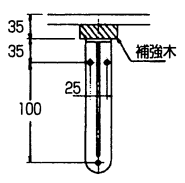
カウンターの固定強度を保ち、そり、たわみ等を防止するため、次の項目を必ず守って取り付けます。



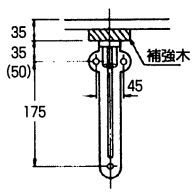
※ブラケットの取付位置は、カウンター裏面の支持箇所に補強木を接着していますので、この位置をブラケットの取付位置としてください。

(2) ブラケット取付高さ

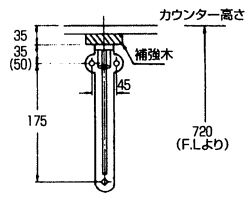
カウンター部（補強木含む）の厚み（35㎜）を考慮し、ブラケット上面をあらかじめ下げて芯出しをします。カウンター高さはF.L. より720㎜です。



●固定用ブラケット
（MB-350M用）



●固定用ブラケット
（MB-450、500タイプ用）



●固定用ブラケット
（MB-600タイプ用）

※(　　)内寸法は調節用、連結用ブラケットを使用する場合

2 ブラケットおよびカウンターの取付け

(1) ブラケットの取付け

[乾式壁の場合]

①付属のねじを用いて壁面にねじ固定します。

[湿式壁の場合]

①AYボルトの位置を確認し、位置出しをします。

②壁にφ7.5の下穴をあけ、切粉をよく取り除きます。

※下穴は電動ドリルを使用し、正確にあけてください。

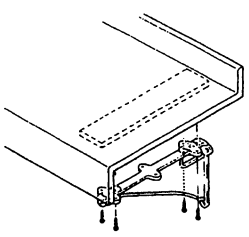
③AYボルトを挿入してゴム筒を押さえてボルトを抜き取ります。

④壁面にボルトで固定します。

(2) カウンターの取付け

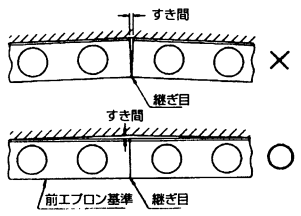
カウンターをブラケットに載せ、ねじ（付属部品）で固定します。

※レベルアジャスター式のブラケットは、レベル調節してからねじで固定してください。

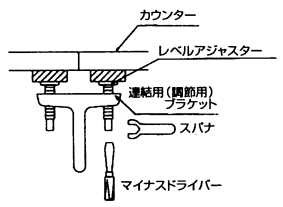


●連結カウンター取付けの場合のご注意

・必ず前エプロンを基準にして取付けてください。継ぎ目は、すき間や段違いのないように調節してください。



・連結用（調節用）ブラケットは、スパナまたはマイナスのドライバーで上下調節してください。



キャビネット式

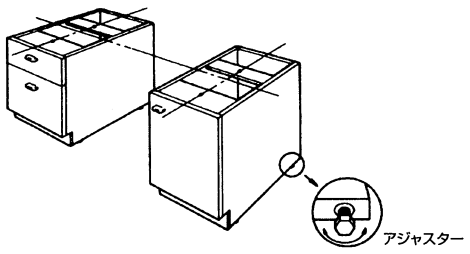
●乾式壁へのキャビネット取付けの場合には付属のねじをご使用ください。

●湿式壁へのキャビネット取付けには別途手配のAYボルトKB-4×60T（AY）をご使用ください。

1 キャビネットの設置

(1) 設置位置の確認

設置位置、給排水位置を確認のうえ、間口寸法に対しキャビネットの設置位置の確認をします。

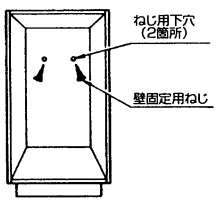


(2) レベル調整

左右のキャビネット間に角材などを渡し、水準器で左右のキャビネットが水平になるように、またガタツキがないように各キャビネットのアジャスターを調節します。

2 キャビネットの壁固定およびカウンターの取付け

(1) キャビネットの壁固定



〔乾式壁の場合〕

(1) 扉を開き、引出しを取り出して付属のねじを用いてキャビネット背板のねじ穴から壁面にねじ固定します。(左右２箇所)

〔湿式壁の場合〕

(1) AYボルトの位置を確認し、位置出しをします。

(2) 壁にφ7.5の下穴をあけ、切粉をよく取り除きます。

※下穴は電動ドリルを使用し正確に開けてください。

(3) AYボルトを挿入してゴム筒を押さえてボルトを抜き取ります。

(4) キャビネットを壁面に当て、キャビネット背板のねじ穴から壁面にボルトで固定します。

ワンポイント

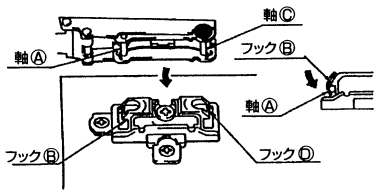
●キャビネットを壁に固定する際、扉がじゃまになるときは、扉を外してねじ固定することもできます。

●キャビネットの扉の着脱方法は、後述の「扉の取付方法」「扉の取外し方法」をご覧ください。

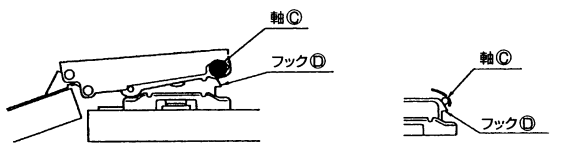
●ねじ固定後は、必ず扉を取り付けてください。

●扉の取付方法

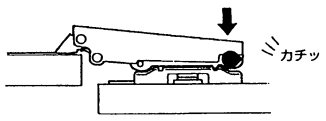
(1) 蝶番の軸Ⓐを、フックⒷに引っ掛けます。



(2) 蝶番の軸Ⓒを、フックⒹに合わせます。



(3) 蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで押します。



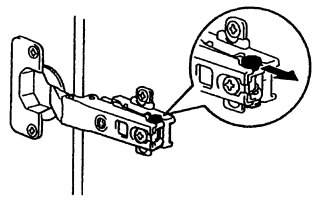
⚠注意

蝶番が確実に結合していることを確認してください。

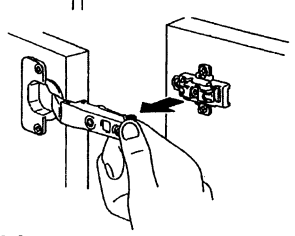
※結合が不十分ですと扉の落下によりケガをする恐れがあります。

●扉の取外し方法

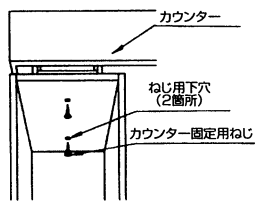
(1) 蝶番の黒いつまみを矢印の向きに引っ張ります。



(2) 蝶番を矢印の向きに引っ張って、取り外します。



(2) カウンターの取付け

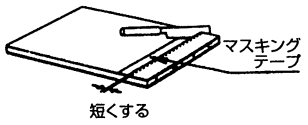


カウンターをキャビネットに載せ、カウンターの高さ、水平の確認を行った後、カウンター固定用ねじ（付属部品）で固定します。

※カウンターの要支持箇所にカウンター受架台を接着していますので、キャビネット内側上部からカウンター固定用ねじで固定してください。

3 前パネルの取付け
(前パネル使用の場合)

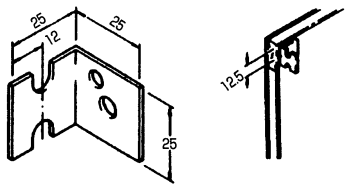
●キャビネット間および壁間寸法より1～2㎜（MB-350M用は5㎜）短くなるように前パネルをのこぎりでカットします。



※カットする際には化粧面が欠けないように化粧面にマスキングテープなどを張ってください。

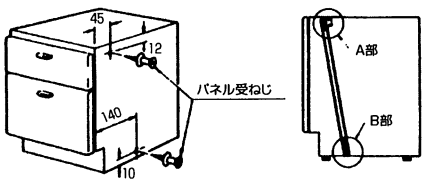
①固定金具を下図のように前パネルに取り付けます。

●固定金具

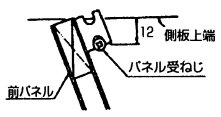


②左右キャビネットの右図位置にパネル受ねじを取り付けます。

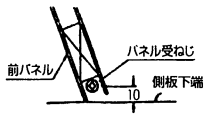
③パネル受ねじに前パネルを取り付けます。



●A部詳細

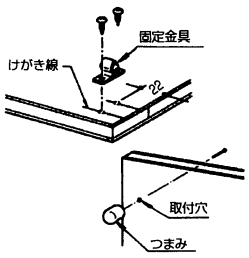


●B部詳細



〈MB-350Mの場合〉

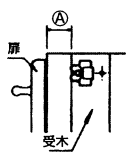
①固定金具を前パネルのけがき線にあわせて取り付け、つまみは穴にあわせてねじで取り付けます。

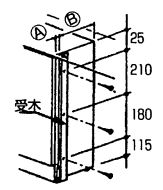


②受木を左右両側の所定の位置にねじで固定します。（3箇所）

●寸法詳細

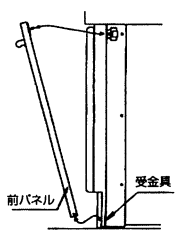
パネル位置	Ⓐ	Ⓑ
ボウルの下	32	32
上記以外	70	70





※前パネルがけこみ板より前に出ないように取り取り付てください。

③前パネル下部の溝を固定桟の受金具に引っ掛け、下図のように取り付けます。



4 フロントパネルの取付け
(フロントパネル使用の場合)

(フロントパネル使用の場合)

●フロントパネルの取付けはフロントパネルの施工説明書をご覧ください。

5 マーベリイナシェルフの取付け
(マーベリイナシェルフ使用の場合)

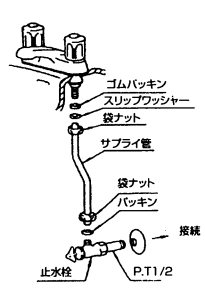
(マーベリイナシェルフ使用の場合)

●マーベリイナシェルフの取付けはマーベリイナシェルフの施工説明書をご覧ください。

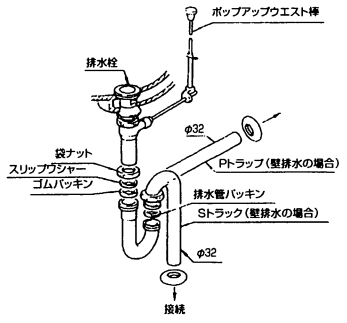
ブラケット式、キャビネット式

6 給排水の接続

(1)給水・給湯管の接続（ツーハンドルの場合）



(2)排水トラップの接続（ポップアップ排水栓の場合）

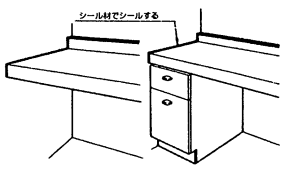


※洗面ボウルに水を満水にし、オーバーフロー能力のある範囲以内で、止水栓の開閉調節をしてください。排水栓を開け、水を一度に排出し、各接続部からの水漏れのないことを確認してください。

7 仕上げ

カウンターおよびキャビネットが壁に接する面は、シール材でシールします。

※接合部には、マスキングテープをしてシーリングしてください。



●カウンターを壁に埋め込む場合

カウンターを埋込分だけ養生フィルムを切り取ってから壁を仕上げてください。

※キャビネット本体は絶対に埋め込まないでください。

ミドルキャビネットの取付け

ミドルキャビネットを壁の指定位置に設置し、ミドルキャビネットの内側より壁固定用ねじ（付属部品）または別途手配のAYボルトKB-4×60T（AY）で固定します。

施工後の確認

■キャビネット本体の確認

(1)キャビネットの取付ねじが十分に締まっているか、ゆるみがないことを確認します。

(2)キャビネット自体にガタツキ、壁とキャビネットのすき間がないことを確認します。

(3)ねじのゆるみ、キャビネットのガタツキがある場合は、必ずねじ位置をかえて取付け直します。

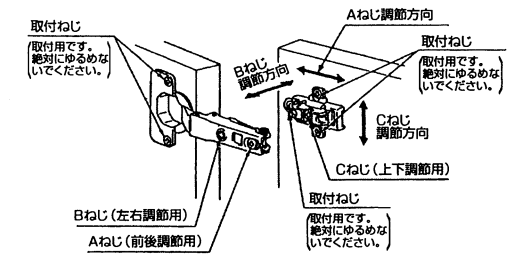
(4)扉のふぞろいがある場合は、後述の「扉の調節(スライド蝶番MT－110F)」で調節します。

■吐水量、排水量の確認

(1)洗面器の排水栓を閉じて水を満水にし、吐水させて洗面所から水があふれないよう（オーバーフロー能力の範囲以内）水側、湯側の止水栓の開閉をして流量の調節をします。

(2)排水栓を開け、水を一度に排出し、トラップ、排水管の各接続部からの水漏れのないことを確認します。

扉の調節(スライド蝶番MT－110F)



⚠注意

調節後は必ず、Aねじ、Cねじ、取付ねじが固く締め付けられていることを確認してください。

※締付けが不足しますと蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。

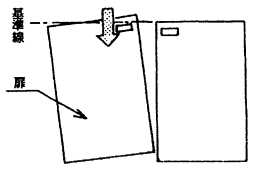
各ねじの調整量
Aねじ……前方向2.5㎜、後方向1.5㎜
Bねじ……右へ回す→手前へ4㎜、左へ回す→後方へ1㎜
Cねじ……上方向1.5㎜、下方向1.5㎜

●扉の先端が上がっているとき

①扉上方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または扉下方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。

②扉を閉めて確認します。

③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。

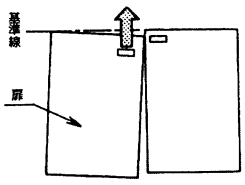


●扉の先端が下がっているとき

①扉上方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。または扉下方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。

②扉を閉めて確認します。

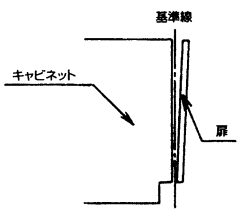
③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



●扉と側板のすき間が上下異なるとき

①扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。

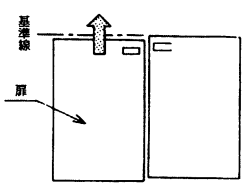
②正しい位置でAねじを右へ回して締め付けます。



●扉の位置が上下異なるとき

①扉の上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にします。

②正しい位置でCねじを右へ回して締め付けます。



ワンポイント

●Aねじ、Bねじ、Cねじは扉を取り付けたままで調節できます。

●２枚扉(両開き)の場合で、片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉で交互に調節を行ってください。